

ケニア

タナ河流域道路整備事業(1)(2)



本事業により整備した道路（ガルセン付近）

[借款概要]

承諾額/実行額	12,623百万円 / 12,570百万円
借款契約調印	1982年4月 / 1990年3月
借款契約条件	金利3.0% / 2.5%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1987年4月 / 2000年6月

[事業概要]

ケニア東部のタナ河流域を縦断する道路を整ずることにより、同地域の開発に寄与するもの。

[評価結果]

タナ河流域は半乾燥地域が多く、世銀及び円借款が支援した灌漑事業等を通じた農産物の増産・流通の拡大や畜産業の発展等が期待されていた。

本事業は、同地域を南北に縦断する道路を対象とし、円借款で調達した建設機械を使用して実施機関が直営工事を行なう計画であったが、北側のガリッサ / ホラ (118km) は予定通り進捗したのに対し、中南部のホラ / ガルセン (94km) / マリンディ (105km) は、同国の経済悪化による予算不足のため工事が遅延した。

このため、第2期借款により土木工事費を支援し、その結果工事は進捗したものの、1997年に、世界的なエルニーニョ現象の際の豪雨・大洪水によって、現場のキャンプや資材が流されるなど深刻な被害を受けた。

本事業は、このように想定外の困難が続いたが、1999年3月にはホラ / ガルセンの未舗装区間を除く234kmの区間の道路が完成した。

特に、南部のガルセン / マリンディ間の交通量は大きく増加しており、地域経済の発展に貢献して行くことが期待される